

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,632	△9.8	214	△18.4	212	△17.3	119	—
24年3月期第3四半期	7,350	△1.0	262	△28.3	256	△27.3	△572	—

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 111百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △597百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	11.80	—
24年3月期第3四半期	△56.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	9,683	6,882	71.1	683.08
24年3月期	9,974	6,890	69.1	679.57

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 6,882百万円 24年3月期 6,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,000	△8.0	265	△19.9	260	△19.3	150	—	14.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	10,545,133 株	24年3月期	10,545,133 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	469,585 株	24年3月期	405,485 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	10,128,188 株	24年3月期3Q	10,178,406 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 一般概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の財政の崖問題や欧州債務問題、中国経済の減速懸念等を背景として景気の先行きに不透明な状況が続いておりますが、年末にかけてのデフレ脱却政策による景気回復への期待感から、円高の修正や株価の回復など、一部に明るい兆しが見られるようになってまいりました。

当社グループの属する物流業界は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下という厳しい環境の中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすため、営業力の強化と業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、当初の事業計画値には及ばないものの、この10月以降、これまでの営業活動の成果が徐々に表れ始めております。しかしながら、主要顧客2社との取扱業務が終了および一部終了したことの影響が大きく、前年同期間と比較して9.8%減の66億32百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、前第3四半期連結累計期間では、東日本大震災による復旧費用の発生がありましたが、当第3四半期連結累計期間では、倉庫保管スペースの効率化や適正な作業人員投入による作業効率の向上に取組んだほか、さまざまな経費削減に努めたことにより営業原価率の改善が図れたものの、営業収益減少による影響により、営業利益は前年同期間と比較して18.4%減の2億14百万円となりました。また、経常利益は、営業外費用に社債発行費13百万円を計上したこともあり、前年同期間と比較して17.3%減の2億12百万円となりました。さらに、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間では、特別損失項目において減損損失6億73百万円の計上を余議なくされたことから5億72百万円の四半期純損失となりましたが、当第3四半期連結累計期間では、1億19百万円の純利益となりました。

## ② 報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、第3四半期連結会計期間の業績が、ほぼ計画値どおりに推移したものの、この5月以降、主要顧客2社との取扱業務が終了および一部終了したことに加え、主要顧客1社との契約内容が変更され、連結子会社であるタカセ物流株式会社との直接取引となったことにより、営業収益は前年同期間と比較し11.7%減の64億5百万円となりました。また、営業総利益は、前第3四半期連結累計期間では、東日本大震災による復旧費用の発生がありましたが、当第3四半期連結累計期間では、倉庫保管スペースの効率化や徹底したコスト管理による作業効率の向上に取組んだものの、営業収益減少による影響により、前年同期間と比較して1.5%減の8億88百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、国内顧客の取扱量が減少したことから、営業収益は前年同期間と比較して21.2%減の7億77百万円となりました。また、営業総利益は、第2四半期連結累計期間の結果を踏まえ、これまで以上の不採算業務の効率化などのコスト改善を推進したことにより、第3四半期連結累計期間では、黒字転換が図れたものの、営業収益の減少による営業総利益の減少を補えなかったことから、前年同期間と比較して83.8%減の6百万円となりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、主要顧客1社がタカセ株式会社からタカセ物流株式会社との直接取引となったことにより、営業収益は前年同期間と比較して2.0%増の10億13百万円となりました。また、営業総利益は、取扱量が増加したことのほか、業務量に応じた人員投入と作業効率向上に努めたことから、前年同期間と比較して35.9%増の92百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億90百万円（△2.9%）減少し、96億83百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が2億19百万円減少したほか、受取手形及び売掛金が91百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億82百万円（△9.2%）減少し、28億1百万円となりました。

この主な要因は、社債の発行により社債が5億円増加したものの、社債の償還により1年内償還予定の社債が5億10百万円減少したほか、支払手形及び営業未払金が1億33百万円、未払法人税等が70百万円減少したことによるものであります。なお、長期借入金の減少額1億30百万円は、短期借入金へ組替表示したものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8百万円（△0.1%）減少し、68億82百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益による増加1億19百万円があるものの、前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億6百万円のほか、自己株式の取得による減少13百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法にもとづく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,066,146	2,846,493
受取手形及び売掛金	1,258,629	1,167,168
原材料及び貯蔵品	12,010	11,337
前払費用	40,134	41,933
繰延税金資産	53,577	31,993
未収法人税等	—	455
その他	127,778	123,627
貸倒引当金	△895	△829
流動資産合計	4,557,381	4,222,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,986,390	8,181,608
減価償却累計額	△5,695,887	△5,869,747
減損損失累計額	△52,617	△52,617
建物及び構築物(純額)	2,237,885	2,259,243
機械装置及び運搬具	2,142,321	2,060,287
減価償却累計額	△2,019,073	△1,980,461
機械装置及び運搬具(純額)	123,248	79,825
土地	1,574,272	1,574,272
建設仮勘定	—	45,000
その他	350,729	373,597
減価償却累計額	△301,080	△323,501
その他(純額)	49,648	50,095
有形固定資産合計	3,985,055	4,008,437
無形固定資産		
借地権	449,043	449,043
その他	83,808	79,270
無形固定資産合計	532,852	528,313
投資その他の資産		
投資有価証券	458,793	446,317
繰延税金資産	188,508	209,823
その他	264,479	280,245
貸倒引当金	△12,226	△11,332
投資その他の資産合計	899,554	925,053
固定資産合計	5,417,461	5,461,804
資産合計	9,974,842	9,683,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	552,515	418,559
1年内償還予定の社債	520,000	10,000
短期借入金	590,000	704,500
未払費用	146,313	158,594
未払法人税等	97,441	26,775
賞与引当金	81,549	30,769
役員賞与引当金	21,000	14,137
その他	181,537	144,461
流動負債合計	2,190,356	1,507,798
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	240,000	110,000
退職給付引当金	573,869	595,181
役員退職慰労引当金	74,712	88,587
その他	5,257	—
固定負債合計	893,839	1,293,769
負債合計	3,084,196	2,801,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,690,476	2,703,542
自己株式	△112,020	△125,500
株主資本合計	6,882,304	6,881,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,116	44,082
為替換算調整勘定	△43,774	△43,555
その他の包括利益累計額合計	8,341	526
純資産合計	6,890,646	6,882,417
負債純資産合計	9,974,842	9,683,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	7,350,836	6,632,546
営業原価	6,356,923	5,660,916
営業総利益	993,912	971,629
販売費及び一般管理費	731,140	757,280
営業利益	262,772	214,349
営業外収益		
受取利息	601	624
受取配当金	12,805	19,732
保険配当金	1,010	1,010
受取賃貸料	3,241	3,398
債務勘定整理益	6,129	—
その他	4,437	9,049
営業外収益合計	28,226	33,816
営業外費用		
支払利息	18,332	16,306
社債発行費	—	13,776
支払補償費	13,004	3,791
その他	3,134	2,045
営業外費用合計	34,471	35,920
経常利益	256,527	212,244
特別利益		
固定資産売却益	546	6,140
特別利益合計	546	6,140
特別損失		
固定資産除売却損	7,749	8,321
減損損失	673,430	—
特別損失合計	681,179	8,321
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△424,105	210,063
法人税、住民税及び事業税	99,267	85,820
法人税等調整額	48,929	4,710
法人税等合計	148,196	90,530
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△572,302	119,532
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△572,302	119,532



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△572,302	119,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,866	△8,034
為替換算調整勘定	△8,207	219
その他の包括利益合計	△25,074	△7,815
四半期包括利益	△597,377	111,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△597,377	111,716
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	7,227,922	70,290	23,635	7,321,848	28,987	7,350,836
セグメント間の内部営業収益又は振替高	28,725	915,955	970,057	1,914,738	95,053	2,009,791
計	7,256,647	986,246	993,692	9,236,587	124,040	9,360,627
セグメント利益	902,092	39,291	67,881	1,009,265	13,067	1,022,332

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	7,350,836
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△2,009,791	—
計	△2,009,791	7,350,836
セグメント利益	△28,420	993,912

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△28,420千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合物流事業」セグメントにおいて、倉庫設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において673,430千円であります。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,396,858	53,552	155,567	6,605,978	26,567	6,632,546
セグメント間の内部営業収益又は振替高	8,580	723,966	858,205	1,590,752	96,422	1,687,174
計	6,405,439	777,519	1,013,772	8,196,731	122,989	8,319,721
セグメント利益	888,728	6,346	92,259	987,335	12,311	999,647

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	6,632,546
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,687,174	—
計	△1,687,174	6,632,546
セグメント利益	△28,017	971,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△28,017千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。